

# 学生新聞

放送大学  
埼玉学習センター  
埼玉CSC交流会  
学生新聞  
編集委員会  
〒330-0853  
さいたま市大宮区  
錦町682-2  
TEL048-650-2611

## 第10回埼玉学習センターの学園祭 交流を求め人々で大賑わい 昨年に続いてのジャズ演奏会も開催

10月第2週の週末8日（土）と9日（日）の両日、第10回埼玉学習センターが開催された。いつもは静かな埼玉学習センターが、交流を求めて集まった大勢の学生達や同窓生等で賑わった。



今年、埼玉フェスタに合わせて「入学者の集い」が8階の講堂で行われ、放送大学の来生副学長による公開講演会が開催された。演題が「海は広いな大きいなー海洋国家日本の海の管理」という、日本国民にとって身近な問題を取り上げて、100名以上の参加者が熱心に聴講した。

### 第10回埼玉フェスタを顧みて 埼玉CSC交流会 代表 嶋崎洋明

10周年の節目の開催となる第10回埼玉フェスタが10月8、9日の2日間、埼玉学習センターで開催されました。今年度は渋谷学習センター所長、武内同窓会長、岡里同窓会監事、鈴木同窓会副会長の強力なご支援を頂き、開催の運びとなりました。

第1回は平成20年2月23、24日に、また、第2回は同年10月11、12日に開催されました。1年に2回開催された延長線上に、今年度の第10回が開催されました。

催されています。記念すべき第10回開催では、①渋谷学習センター所長が学生の参加を強力に意識して下さり、後期の入学式を8日に実施する事で新入生にアピールができて、②埼玉大学小澤教授と大学院生の絵画の出品にもご尽力頂きました。③武内同窓会長には、「秩父の物産」販売にご尽力頂きました。④岡里同窓会監事には「茶席」の開催をご了承頂きました。⑤鈴木同窓会副

世界を楽しんだ。第1講義室では熟年会による公開勉強会が開催され、「失敗の本質ー旧日本軍の組織論的研究と福島第一原発の事故対応の類似性について」という問題提起が、佐藤伊一講師によって講演された。

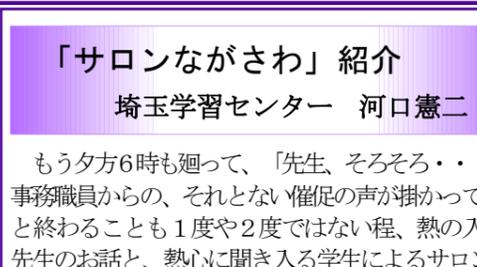
第5講義室では未来の「絵手紙教室」が行われ、会員から指導を受けながら、何人もの参加者が絵手紙に挑戦をしていった。また8階講義室では、オカリナ同好会「オンチー」が美しい音色で聴衆を魅了した。残念ながら、「オンチー」の演奏は今年のフェスタが最後となった。その後は健康体操研究会の指導で、ストレッチ体操やダンス体操、ベリーダンスが行われ、沢山の参加者と共に楽しく汗を流した。続いて、ソシアルダンスクラブのフォーメーションダンス

会長の尽力で、S.A.T.O.M.Iさん率いるジャズ・ライブを開催できた。⑥講演は来生新放送大学副学長による「海は広いな大きいなー海洋国家日本の海の管理」、⑦「懇親会、パーティ」でも皆様にジャズ・ライブをお楽しみ頂きました。CSCの使命は「学生・同窓会・教職員」の皆様との仲間意識を高め、交流の輪を広げる場を提供するものと認識しています。実行委員、学習センター、同窓会の皆様のご支援、ご協力を賜り、盛大裏に開催されました事に厚くお礼申し上げます。

第10回埼玉フェスタ俳句・川柳大会  
\*俳句入選句  
連山は遙かに遠し 鶯紅葉  
晴天や一糸乱れず 御輿渡御  
コスモスやイーハトーブに 風流れ  
\*川柳入選句  
尖閣をいつ取られるか 赤い国  
秋なのに桜咲いたと 月見酒  
面接はレポート無しが大盛況  
佐保義登  
坂本賢一  
坂本安義



恒例の俳句・川柳大会では鑑賞者の選句により、各3句の入選作品が交流パーティで表彰された。昨年同様、最終日には8階講堂でジャズ演奏会が開催された。懐かしいジャズのナンバーはフェスタの最後を飾る懇親会パーティでも演奏され、華やかな雰囲気を出した。中には、ジャズ演奏に合わせたダンスを披露した。同じく



9階ロビーには恒例の茶席が設けられ、茶席を訪れた客人はひととき、

### 「サロンながさわ」紹介 埼玉学習センター 河口憲二



もう夕方6時も廻って、「先生、そろそろ・・・」。事務職員からの、それとない催促の声が掛かってやっと終わることも1度や2度ではない程、熱の入った先生のお話と、熱心に聞き入る学生によるサロンは、いつも講義Aをほぼいっぱいにして、平均して、月1回開催されています。

告知にいかにも騙されやすいかが面白く話されて、身に覚えのある方もいたのではないのでしょうか。また、いつもタイムリーな話題も取り上げています。ノーベル賞受賞者の研究の話や、また日本初の新元素ニホニウム発見と承認の話なども、過去の幻のニホニウムの話も交え、また元素の命名の由来などをおもしろく話していただき、化学研究の舞台裏を聞くことができました。

先生もこのサロンでのお話を楽しんでおられるようで、ほぼ毎月、いろいろなテーマを取り上げてお話されます。という訳で、私達もお話に引き込まれて、3時間超の時間はあっという間に過ぎてしまいます。一般に「化学」は何か難しそうとつつきにくく、過去、学生時代に「モル」・「酸化還元」などの言葉や概念に苦しんで、キライになった方も多いのではないかと思えます。しかし考えてみると、実に身近な生活の中で化学の利用や応用によって支えられ恩恵を受けている事がたくさんあることに気付かされます。今の時代に欠かせないパソコン・携帯などの半導体や電池から、衣類・食品への応用まで、挙げればきりがありません。この様に化学から多くの恩恵を受けていることを、この「サロン」で気付かされます。また、日々生きている私達の体も、細胞レベルから体組織まで複雑な化学的仕組みで営まれている生化学の世界にも、改めて気づかされます。化学の範囲は広く奥深く、しかも私達の生活に密着した世界である事が解ります。サロンでの学びで「化学」への興味はどんどん広がって行きます。

ぜひ、皆さんもこの「化学」の世界を覗いてみませんか。毎回出席出来なくても大丈夫です。毎回、先生は基礎的な事から始めて、テーマへと展開させてゆきます。ですから授業のように最初から順に聞かないと理解出来ないという心配はありません。プリントも毎回、豊富な情報を載せてくださいます。この記事を見て、参加してみようと思った方、大歓迎です。

「ああ、T大学でしたか」で終わってしまうと、なんだか調子が狂ってしまう。そこで何を学んで、どんな学生生活を送ったのかの質問ではなく、ただ単に、どこの大学を出たのかが知りたかっただけなのかと、少しがっかりする。

実は私の就職試験のとき、ゼミと卒業論文について質問してくれた試験官がいて、「面白いテーマですね、入社したらぜひ、実現できると思いますね」と言われて、うれしく思ったことがある。学校を卒業して実社会に入ってしまうと、最終学歴がどうのということ、研究分野以外ではあまり関係なくなってしまう。それよりこれから先、どう社会と関連を持ち続けていくのかを考えて、毎日行動することの方が大切な事だと私は思っているのだが・・・

### 学生手帳 「学歴偏重社会」 笹原誠二

この大学のご出身？どちらの会社にお勤めでした？とか、そんな質問をされることが多い。履歴書への学歴記載ならば仕方ないが、結婚式の新郎・新婦の紹介で学歴が披露されることも多く、「何々大学を優秀な成績で卒業された」というのが、決まり文句のようにだが、出席者にとっては、二人の生い立ちや馴れ初め、結婚までの経緯の話の方が、むしろ興味があるのではないのか。

「失礼ですが、どちらの大学のご出身ですか」と平気で聞いてくる人に、やむを得ず「T大学のK学部です」と答えたら、「ああ、T大学でしたか」で終わってしまうと、なんだか調子が狂ってしまう。そこで何を学んで、どんな学生生活を送ったのかの質問ではなく、ただ単に、どこの大学を出たのかが知りたかっただけなのかと、少しがっかりする。

### 平成29年度4月入学 学生を募集

平成29年4月入学の学生募集のご案内  
学生の種類  
\*教養学部・全科、選科、科目履修生  
\*大学院文化科学研究科・修士選科生、修士科目生  
出願期間  
第1回は平成28年12月1日（木）～平成29年2月28日（火）  
第2回は平成29年3月1日（水）～3月20日（月）  
オープンキャンパスの開催

オープンキャンパスを左記のとおり開催します。日時  
11月14日（土）、2月4日（土）14時  
内容  
大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、面接授業・図書室見学、個別相談など  
通信指導の提出期限が間近です  
通信指導の提出は11月30日（水）本部郵送必着です（Webの場合には午後5時持まで）。未提出・不合格の場合は、単位認定試験が受けられませんのでご注意ください。  
なお、合格結果は後日、「単位認定試験通知（受験票）」によって通知されます。

サークル紹介 「朗読の会」

代表 堀江加壽代

2016年10月9日、宮沢賢治ワールドを目指した「こころ」宇宙船の旅は、無事埼玉学習センターに帰還した。今年、賢治生誕120年という特別な年であり、「垣間見るイーハトーブ」賢治に協賛して、星めぐりの旅であった。だが「雨ニモマケズ」あまりにも有名な詩を残して37歳で亡くなった彼の作品は、想像を遥かに超えたところ、いづれの世界だった。(いとも違う！)

毎年のはじめは岡本指導者の「基本の声は体から」とボディトレーニングになる。「種々の音色の声」が出せる様にボイストレーニングもある。それはシャボン、カンツォーネ、経文と幅広いスタートだ。そして指導者執筆の「音声表現の基本」を教科書に、しっかりと学んだ筈だったのに賢治には悲鳴をあげる。今年発表の賢治ワールド全四景は「やまなし」「鹿踊りのほじまり」「注文の多い料理店」「春と修羅」で配役も決まった。台本係より全景文の稽古用台本が配付さ



れ、演出家より自分の台本だけでなく台本全てを熟読するようにと指示が出た。テーマ曲も決まった。賢治自作の「星めぐりの歌」を全員で歌う場面もあるのが暗譜だ。4グループの練習がスタートしたが、賢治の作品には独特の宇宙観、死生観、宗教観、亡くなった妹トシへの深すぎる思い、自然と動物の命を軽視する人間の傲慢さへのユーモラスな風刺等が全ての作品に散りばめてある。又、オノマトペ(擬音語)の表現も「どつど」「トブ」「サラサラサラ」など「どつてこ」「どつてこ」など賢治の底知れない知識と表現力が盛り込まれている。私達は悩んだ。「あまり深く考えすぎないこと。言葉遊びのつもりで取り組む」といし、指導者のひと言。しかし、花巻の空は遠く高かった。美術、音響、衣装、制作、照明、会場、広報、舞台監督等フェスタの役割分担が決まり、素晴らしい色彩のポスターが出来上がった。近隣の公共

夫先生・星元紀先生「動物の科学」、海部宣夫先生・吉岡一男先生「太陽系の科学」。

Q記憶に残っている山口君面接授業で、物理の実験をしているところを放送大学のカメラで撮られて、「大学の窓」で放映されていた事。山口君「音楽」してください。

Q今後の目標 山口君「情報コース」に入学しましたので、今後は、放送大学の学習をゆったりやっていきたいです。

夫先生・星元紀先生「動物の科学」、海部宣夫先生・吉岡一男先生「太陽系の科学」。

生涯学習奨励賞 金剛賞受賞者 アンケート

Q放送大学に入学したきっかけは... 山口君「知子」教養を深めたいと思ってきました。

Q一番面白かった講義 山口君「渡邊二郎先生」自己を見つめる、大場登先生「ユング心理学」。

夫先生・星元紀先生「動物の科学」、海部宣夫先生・吉岡一男先生「太陽系の科学」。

学生研修旅行 鈴木智義

箱根の彫刻の森美術館をおよそ40年ぶりに訪ねた。真夏の暑さから一転して曇り勝ちで少し肌寒い天候であったが、幸い雨にもあわず野外彫刻を観ることができた。昔と変わらぬ緑豊かな箱根の山の一隅に沢山の抽象彫刻が野外展示されていた。はじめに美術館の学芸員の方から入り口近くの作品の解説をしながら、抽象彫刻の見方について

- ★12月4日(日) 第2回 講師 菅沼雅美(埼玉大学大学院・理工学 学術研究科教授)
★12月25日(日) 第3回 講師 牧 広篤(元気象庁高層気象自白長)
★12月22日(木) 「レクイエム」のあれこれ モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、他
★1月12日(木) 「オペラの魅力と迫力」 ヴェルディ、ロッシーニ、ワグナー、他

助言があった。鑑賞の方は「基本的には見る人の自由で、その人の感性によって観るものであり、また、作品の内なるもの、外なるものを観て感じて

俳句(つみ草)

星辰のさやけき目覚め 菊枕 ふつふつと南部鉄瓶冬に入る 日ざらしの風の電話や雪つもる 縫ひ上げし白の羽二重菊枕 通り雨白根の山の照葉かな 菊枕小口のすれし唐詩選 干しあげて軽き弾力菊枕 山間の陰と日向の秋の暮 爽涼や女戦士の太き剣 薄墨の拓がる先に暮の秋 菊枕暮れゆく空の二日月

象彫刻は、観る角度により思いがけない別の形が現れ、はつきり何とは言えないが驚きの発見の連続であった。ここは外国人の入館者も多いと聞いていたが、当日も多くの人々が来館していた。特に課外授業の小学生の集団が思い思いの作品をスケッチしているのを見かけて、自分も小さい頃に同じように野外スケッチに行った事を懐かしく思い出した。

事務室からの お知らせ
放送大学附属図書館 所蔵コレクション展
「日本残像」ちりめん本と古写真が語る幕末明治
日時 11月7日(土) 8日(日) 10時~18時
場所 埼玉学習センター 8F
展示内容 幕末明治頃の風景・風俗・人物等を記録した古写真120点以上や明治時代の木版多色刷り欧文絵本のちりめん本50点以上など多数。
◆年末年始の学習センター閉所のお知らせ
\*12月26日(月)~
新年1月3日は閉所となります。

サークル案内
サークル おおみや
★12月8日(木) 「川越散策」 JR川越駅改札口に10時半集合
★1月10日(火) 12時~「新年会」
熟年会
★定例会&勉強会 毎月第2火曜日

江戸時代の古文書を読む会
★12月11日、18日 いずれも土曜日
囲碁専科
★11月29日(火)
初心者の方も歓迎
健康体操研究会
★毎週火曜日
12月6日、13日、20日 10時半~12時 8F講堂
バランス体操 悠々
★活動日は金曜日
12月2日、9日、16日
ラルゴ体ほぐしの会
★活動日は水曜日
11月30日、12月21日 8F講堂 13時半~15時

朗読の会 「こころ」
★毎月第2、第4木曜日 10時~17時
12月8日 第1講義室
12月22日 第4講義室
編集後記
温もりの中の眠りを揺さぶった地震。3・11を思い出させるような津波。そして、54年ぶりとなる11月の初雪。今年は最後まで驚きに満ちた1年で、来年は平和で穏やかな1年になるよう祈念します。来年もよろしくお願いたします。(冬)

一般公開講演会
いづれも埼玉学習センター 18F講堂・14時~
【正しく怖がる】
★12月4日(日) 第2回 講師 菅沼雅美(埼玉大学大学院・理工学 学術研究科教授)
★12月25日(日) 第3回 講師 牧 広篤(元気象庁高層気象自白長)
★12月22日(木) 「レクイエム」のあれこれ モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、他
★1月12日(木) 「オペラの魅力と迫力」 ヴェルディ、ロッシーニ、ワグナー、他

「天空の花」 福盛田恵子
定例会の後、「27年会」
★イベント(毎月1回)
★パソコン楽習会
毎月第2以外の火曜日
12月6日、20日
基本的に、午前はテキストを元にエクセルなどを学び、午後はインターネットなど、パソコンの活用を練習
12月13日(火)
定例会の後、「27年会」
★イベント(毎月1回)
★パソコン楽習会
毎月第2以外の火曜日
12月6日、20日
基本的に、午前はテキストを元にエクセルなどを学び、午後はインターネットなど、パソコンの活用を練習

